

## 豪雨対策（浸水被害の最小化）の取組み

### 1 豪雨対策の基本方針

本市では10年に1度の降雨（1時間あたり53mm）に対して、浸水のない雨に強いまちを目指して積極的に雨水整備を進めてきた。

さらに、令和3年度からは、「浸水リスク」や「都市機能集積度」を定量的に評価したうえで、新たに「重点整備地区」（16地区）を設定し、本市における過去最大規模の降雨（1時間あたり70mm）に対して、床下浸水が概ね解消できるように、より一層効果的に雨水整備を進めることとしている。

### 2 「北九州市上下水道事業中期経営計画2025」における目標

資料1

令和7年度までに重点整備地区（16地区）のうち、9地区の整備完了。

### 3 「重点整備地区」における現在の取組み状況

資料2

#### <工事实施中（3地区）>

- ・天籟寺 天籟寺初音町幹線（シールド工法）直径2m、延長約1.5km  
令和4年5月18日 通水式（供用開始）

資料3

- ・昭和町 雨水貯留管（シールド工法）直径3m、延長約1.5km  
貯留量約9,500m<sup>3</sup>（25mプール26杯分）  
令和5年度末完成予定

資料4

- ・長野津田 北九州市長野津田土地区画整理事業にて実施（組合施工）  
雨水管、長野川調節池の整備など  
令和6年度末完成予定

資料5

#### <実施設計中（3地区）>

- ・篠崎一丁目、今町一丁目、門司駅前  
令和4年度より順次工事発注予定

### 4 他都市の取組み状況

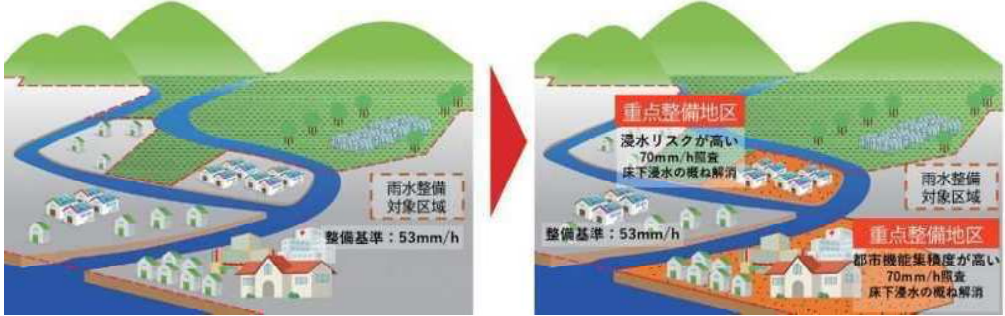
名古屋市 名古屋中央雨水調整池

資料6

## 将来像 1 市民生活を支える強靱な上下水道をつくる

重点施策 1-1 上下水道施設の長寿命化と改築・更新 **重点施策 1-2 豪雨対策の拡充・強化**  
 重点施策 1-3 震災対策の拡充・強化 重点施策 1-4 危機管理体制の充実・強化

【下水】

事業名	1-2-1 浸水被害の最小化				
取組内容	<p>これまで、本市では 10 年に 1 度の降雨（1 時間あたり 53mm）に対して、浸水のない雨に強いまちづくりを目指して効率的に雨水整備を進めてきました。</p> <p>これからは、近年、局地化・集中化する豪雨から市民の生活を守るため、「浸水リスク」や「都市機能集積度」を定量的に評価したうえで、新たに「重点整備地区」を設定し、より一層効果的な雨水整備を進めます。</p> <p>なお、「重点整備地区」については、現行基準に基づき、地形や雨水の流れ、既存の雨水管やポンプ施設などの排水能力を十分に検証しながら、本市における過去最大規模の降雨（1 時間あたり約 70mm）に対して、床下浸水が概ね解消できるように取り組みます。</p> <p><b>【重点整備地区】（16 地区）</b>        門司区 門司港駅前、門司駅前、社ノ木        小倉北区 昭和町、片野新町・宇佐町、新高田、木町二丁目、篠崎一丁目、今町一丁目        小倉南区 長野津田、沼本町、沼南町一丁目、沼南町二丁目、上葛原二丁目        戸畑区 天籟寺、浅生</p> 				
目 標	重点整備地区（16 地区）のうち、9 地区の整備	R 元実績	-	→	R7 末目標 完了
目標の設定根拠（参考）	国が示す雨水管理総合計画策定ガイドライン（案）に基づき、基本計画期間（R3～R12）で重点的に整備を行う 16 地区のうち、半数以上にあたる 9 地区の整備を行います。				
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7
重点整備地区の雨水整備	天籟寺	篠崎一丁目 今町一丁目	門司駅前 昭和町	長野津田	木町二丁目 沼本町 上葛原二丁目
効 果	浸水被害が軽減され、雨に強い安全なまちづくりに貢献します。				